情報公開文書　ver.20241024

１）　研究課題名

「ヒト胚子・胎児の既存コレクションを用いた形態学的研究」

２）　研究の目的

京都大学大学院医学研究科附属先天異常標本解析センターに所蔵される貴重なヒト胎児標本を用い，発生過程の三次元的な観察と，画像データを元に定量的解析を行い，発生過程において，どの部分がどの時期にどの程度成長するのかについての具体的データを得ること目的としています。

３）　研究の方法

3-1) 研究実施期間

本研究は，E986 研究（研究開始日：2010 年 11 月 9 日～）の継続研究です。研究実施期間は，2010 年 11 月 9 日から 2026 年 4 月 5 日です。

3-2) 研究対象者

1961 年 1 月から 2001 年 3 月の間に，京都大学大学院医学研究科附属先天異常標本解析センターのコレクションとして受け入れた胎児標本

3-3) 研究概要

ヒト胎児標本を材料として，MRI および X 線 CT で非破壊的に断層撮像を行う。測定機関は京都大学，筑波大学，国立がん研究センター，国立循環器病研究センター，また X 線 CT の一部を九州シンクロトロン光研究センターとの共同研究として高エネルギー加速器研究機構で行います。胎児期から出生までの各発生段階の胎児の MRI および CT 画像を蓄積してデータベース化します。妊娠週数ごとに各数例の胎児標本をデータベースに入力し，発生段階ごとの標準モデルを作成します。これによって胎児期の各発生段階の詳細な三次元画像データベースを構築し，形態の変化および容積の変化など定量的な解析を行います。特に，脳については，各部分が発生段階ごとにどのように変化するのかのデータを蓄積します。得られた画像データの一部を他の研究機関と共同利用し，胎児シミュレーションのための基礎的形態データとします。

４） 参加者のリスクと利益

ありません。

５） 費用と補償

ありません。

６） 研究内容の情報提供

研究計画書および研究の方法に関する資料は他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り，入手閲覧することが可能です。

７） 結果報告

解析結果は，論文等に発表するが，対象者に連絡されることはありません。

８） 研究実施施設と各施設の研究責任者
＜研究実施責任者および情報管理責任者＞
京都大学大学院医学研究科附属先天異常標本解析センター：山田重人
＜共同研究施設＞
東京大学大学院教育学研究科：多賀厳太郎
奈良先端科学技術大学大学院情報科学研究科：舩冨卓哉
東京農工大学大学院工学府：清水昭伸
国立がん研究センター先端医療開発センター機能診断開発分野：山口雅之
九州シンクロトロン光研究センター：米山明男
筑波大学物理工学系：寺田康彦
順天堂大学健康データサイエンス学部：山本憲
国立循環器病研究センター分子薬理部：新谷泰範　＊標本撮像を担当し、試料の取得および情報の保存は行いません。
順天堂大学大学院医学研究科：市村浩一郎

９）研究資金・利益相反

運営費交付金を使用する研究であり，資金提供者が研究の企画，運営，解析，論文執筆に関与しないため利益相反はありません。利益相反については，京都大学利益相反ポリシー，京都大学利益相反マネジメント規程に従い，京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

１０）その他

この研究で得られた結果は，専門の学会や学術雑誌に発表されることもありますが，個人のプライバシーおよび個人に関する情報（氏名など）は厳重に保護・尊重され，外部に公表されることは一切ありません。

その他本研究に関して，研究対象とならないことを希望する場合や，ご不明の点がございましたら，いつでも下記連絡先にお問い合わせください。なお，本研究は，京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け，研究機関の長の許可を得て実施するものです。

問い合わせ・連絡先

1）研究課題ごとの相談窓口
京都大学大学院医学研究科附属先天異常標本解析センター
Tel：075-753-4345
研究責任者 山田重人

2）京都大学の相談等窓口
京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛
Tel：075-753-9301
E-mail：060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp